

## 水のトラブル！：エンジン編 (2020年3月)

## ヨット整備勉強会

- \* 冷却水：西宮の海面は浮遊物が多く、排気管からの冷却水の出が悪いトラブルが多発しています！特に台風直後や大雨で近隣の河川が氾濫した後などは、出航できない程のゴミが集まってきます！（写真：2018年台風24号で大量のゴミが押し寄せてきました！）



海水取り入れ口はカキの付着、ビニールを吸入、クラゲの付着などの他に、細かいゴミは遠慮なく侵入してきます！  
・・・ゴミがインペラを通過してエンジンの各所に目詰まりを起こします・・・

- ・主な目詰まりは・・・直接冷却ではサーモスタット入り口、関節冷却では熱交換器（通称レンコン）入り口です。取り外してきれいに掃除しましょう、ホース内も塩詰まりを起こしている場合もあります。（写真：間接冷却の熱交換器は入り口）



インペラの破片が原因で小さなゴミが溜まってました！

- ・Yanmar や Volvo のエンジンには標準装備にはなっていませんが、西宮に係留するヨットには、オプション装備として「海水ストレーナー」の設置を強く推奨します。

・海水トレーナー商品は格安の Seaflo (中国製: 薬1500円~3000円)、ブランドの Shurflo (米国製: 6000円~8000円) などがあります! 違いはメッシュの質と目の細かさです! (写真中)、またホース径に合う物を選択してください。(どちらも Amazon で購入出来ます)

・・・格安の Seaflo 製を使用する場合は、ステンレス製の細かい目の網(網戸用など)を加工して内側に入れることをお勧めします。

・施工: 難しくありません、キングストーンコックから海水ポンプのホースを切るか新たに追加して、取付位置を吃水から上に設置する。

WL より上にすれば例えこのポンプのホースが外れたり、破壊しても浸水は免れるかもです! (設置例: 写真右)

#### \* Seaflo (中国製)



左は旧 Viatas 製のインナーメッシュは細かい



設置例: 海鈴・のぞみ

#### \* Shurflo (米国製)



設置例: Seasir



メッシュの細かさと材質が Seaflo (中国製) と違う!